



1位 グラマトフィルム・パンテリナム



2位 トラフバショウ



3位 レモン‘ポンデローザ’



ウンゼンカンアオイ[VU]

トピックス カンアオイ各種

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

温室のみごろ植物

第1039号 2025年6月20日 次号予定7/11

今週のベスト3!

黄色い丸が目印です

1位 グラマトフィルム・パンテリナム 水生植物温室で世界最大級のランが開花中です！熱帯雨林の高木の枝に生える種で、生育環境の再現が困難なため自生地以外での開花はたいへん珍しく、国内ではわずかな例しかありません。2013年から12年間の試行錯誤の結果、当園での開花に初めて成功しました。

2位 トラフバショウ 2階手すりから見ると大きな花序と連なった実に圧倒されます。

3位 レモン‘ポンデローザ’ 花と実が同時に見られます。大きい実をごらんください。

じゅもーく先生トピックス

★ あえて「臭く」進化した花たちのニオイを生み出す仕組みを解明 -虫を呼ぶために複数の植物で収斂進化していた！-

筑波実験植物園は、国立遺伝学研究所、昭和医科大学、東京大学、長野県環境保全研究所、宮崎大学、東北大学、ライフサイエンス統合データベースセンター、龍谷大学、慶應義塾大学との共同研究によって、腐った肉のような臭いにおいて昆虫をだまして花粉を運ばせる(腐肉擬態)花が、臭いにおいの成分「ジメチルジスルフィド」を生み出すメカニズムを解明し、またその機能を獲得する進化がわずかなアミノ酸置換でもたらされることを実験的に示すことに成功しました。さらにそのメカニズムを担う酵素がカンアオイ属、ヒサカキ属、ザゼンソウ属という全く異なる植物で独立に進化、獲得されていることを発見しました。これは、花による腐肉擬態というユニークな現象が、どのような成り立ちで進化しうのかを明快に説明できた類い稀な成果と言えます。

本研究成果は、“Convergent acquisition of disulfide-forming enzymes in malodorous flowers.”という表題の論文として2025年5月8日刊行のScience誌に掲載(発表)されました。

筑波実験植物園 | 植物研究部 多様性解析・保全グループ 奥山 雄大

見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください。



② 熱帯雨林温室



① サバンナ温室

③ 熱帯資源植物温室

- ① オペルクリカリア・パキプス 枝にくっつくようにして星形の小さな花が開いています。
- ② ハナキリン 大きなトゲのある枝に朱色のツヤツヤした花(花序)が特徴的です。
- ③ ヘリコニア・ビハイ‘カメハメハ’ 色鮮やかな、鳥のくちばしのような苞をもった植物です。
- ④ クルシア・ヒラリアナ 花びらの外側が白っぽく、内側がピンク色でうつつむき加減に咲く可愛い花です。
- ⑤ パキケントリア・グラウカほか、アリ植物各種の花が美しいです。
- ⑥ バンダ・コエルレア 青色のランはめずらしく、存在感があります。

環境省レッドリストカテゴリー	★ 花
↑ 危険度	❖ 果実・種子
[CR] 絶滅危惧IA類	◊ その他
[EN] 絶滅危惧IB類	◊ ぬり絵の植物
[VU] 絶滅危惧II類	👷 工事中
[NT] 準絶滅危惧	

研修展示館 展示準備中

7/5「ジジウカラの社会」開幕

★ガガバタ

★エケリア

★オウチア

★ブラチケリウム

1位★ 閉鎖中

③ 水生植物温室

世界最大級のラン グラマトフィルム・パンテリナムが開花中!

多目的温室は、工事に伴う植物の一時避難場所とするため、当面、閉鎖しています。休憩場所としても利用できなくなっています。

皆様にはご不自由をおかけしますが、ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。